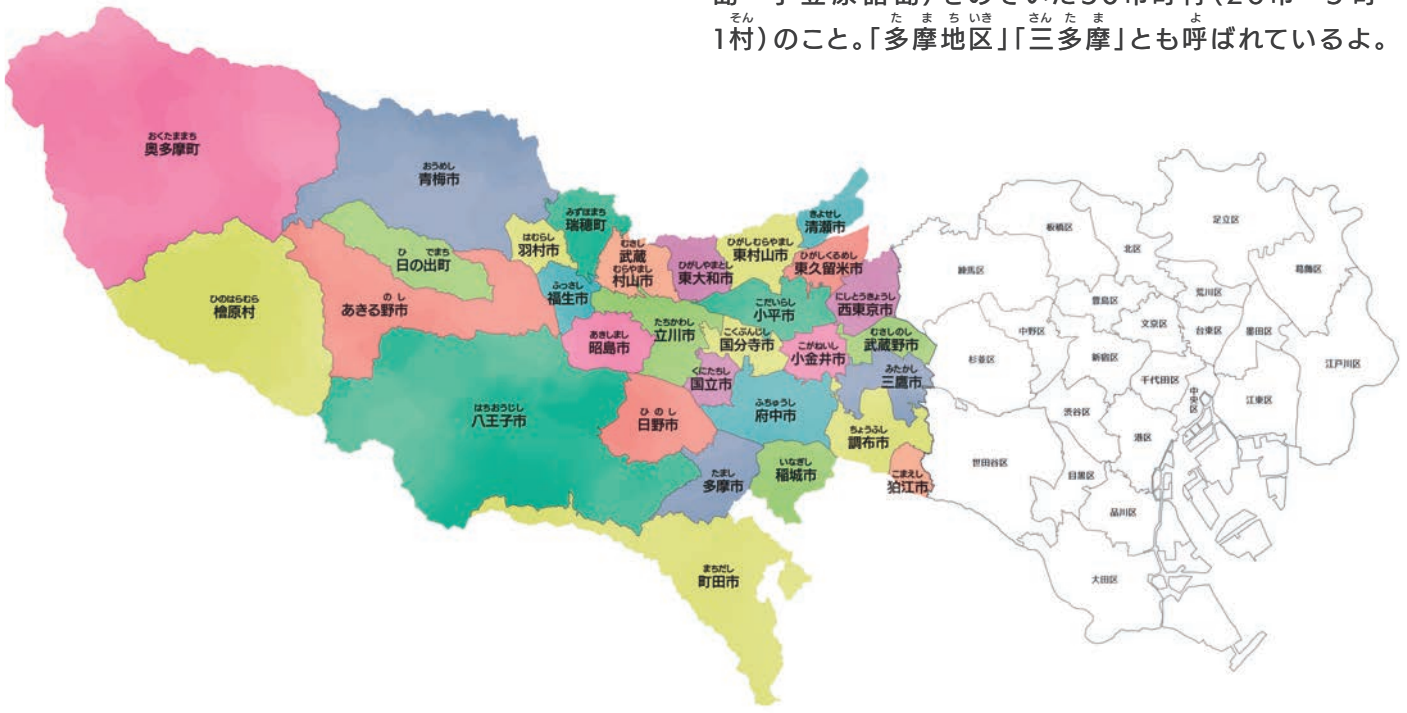


A1 正解は、おうちの人に聞いてみよう!

多摩地域とは、東京都のうち、23区と島しょ部(伊豆諸島・小笠原諸島)をのぞいた30市町村(26市・3町・1村)のこと。「多摩地区」「三多摩」とも呼ばれているよ。

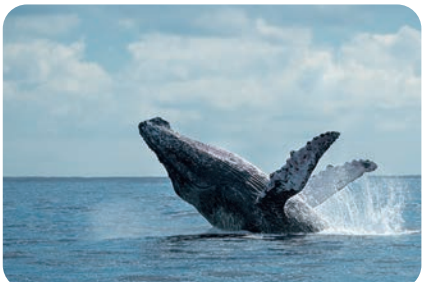


A2 エ



大きな口を開けた赤オニは、通称「オニ公園」として地元の人たちに親しまれている立川市の錦第二公園だよ。「ア」は、国営昭和記念公園内を走る「パークトレイン」。園内の景色をゆっくりと楽しみながら移動できるとあって、大人気! 「イ」は、園内の真ん中「みんなの原っぱ」にあるシンボルツリー「大ケヤキ」。広大な原っぱは、ピクニックのおすすめスポット。シートを広げてお弁当を食べたことがあるお友達も多そうだね。「ウ」は四季折々の景観を楽しめる日本庭園だよ。池の西側にある「歓楓亭」では、有料でお抹茶とお菓子の呈茶サービスを実施しているよ。

A3 ウ クジラ



アユ、カジカ、ヤマメは、多摩川に生息しているよ。下流に産みつけられた卵から生まれたアユは冬の間海で育ち、2月~5月にかけて急流をさかのぼって多摩川に帰ってくるよ。今、クジラは多摩川にはいないけれど、今から61年前の1961年に昭島市の多摩川河川敷で化石となったクジラの骨が発見されたんだ。約200万年前、昭島は海だったんだって。クジラ以外にも、たくさんの海の生き物が生息していたよ。昭島市のシンボルとなった、この「アキシマクジラ」の化石の一部は、アキシマエンス(昭島市教養福祉総合センター)に展示されているよ。

A3 イ ウド



立川市は、ウドの生産量が都内1位。立川市で生産されている「立川うど」は地下で育てられるため、山ウドに比べてアクが少なく食べやすいよ。また、シャキとした歯触りが特徴で、莖や皮までほとんど捨てることなく丸ごと1本食べられるよ。「ア」のショウガといえば、八王子。辛味の少ない「八王子ショウガ」は、みずみずしいのが特徴。「ウ」のネギといえば、昭島の「拜島ネギ」が有名。白い根の部分が太めで青い葉の部分はやわらかいよ。「エ」の梨は、稲城市の特産品。「稲城」と名前のついた品種もあるよ。

たちかわ えき
立川駅

たちかわ えき えきしや えきまえ たてもの むす
立川駅の駅舎と駅前の建物とを結
ぶペデストリアンデッキ。広場と横
断歩道橋との両方の機能をあわせ
持っていて、立川市民にはなじみ深
い場所だよ。1993年はまだ、ペデ
ストリアンデッキもなく、モノレール
も通っていなかったよ。

ア



1993年 立川駅北口 ロータリー
写真提供：立川市

え



ちようふ えき
調布駅

ちようふ えき ねん がつ ち か か
調布駅は2012年8月に地下化さ
れたよ。線路の跡地の一部には、
子どもも遊べる「てつみち」がつく
られたよ。

イ



1972年 調布駅南口広場
写真提供：調布市郷土博物館

あ



むさし こ がね い えき
武蔵小金井駅

ねん むさし こ がね い えき りつ たい こう
2009年に武蔵小金井駅の立体交
差化の工事が完了するまで、武蔵小
金井駅周辺には「開かずの踏切」が
あったよ。ラッシュの時間帯には、
なんと1時間のうちに10分ほどし
か踏切が開かなかったんだって。

ウ



2000年頃 武蔵小金井駅 南口
写真提供：小金井市・小金井市観光まちおこし協会

い



くに たち えき
国立駅

ねん た ねん かん
1926年に建てられてから80年間、
たくさんの人たちに愛されてきた三
角屋根の旧国立駅舎。2006年に
JR中央線の立体高架化工事によっ
て解体され、惜しまれつつも一度は
姿を消したんだ。でも、解体を惜し
むたくさんの方の声や寄付によっ
て、2020年に復活。96年前当時の
姿でよみがえったよ。

エ



2006年頃 旧国立駅舎

う

